**SMBCグループライジング基金2021年度寄付先募集**

**応募用紙**

締切：2021年11月19日（金）15:00

応募日：　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名（法人格含む正式名称） |  |
| 応募事業名 |  |

※Googleフォーム上に入力したものと同じものを記載してください。

|  |
| --- |
| 【記載にあたっての注意】・全体で6ページ以内に収まるように作成してください。・審査基準を踏まえた内容を盛り込むようにしてください。・適宜図表や写真も挿入して頂いて結構です。 |

**1. 団体概要**

**団体が目指していること**（ビジョン・ミッション・目指す社会の姿等）

|  |
| --- |
|  |

**団体の沿革**

|  |
| --- |
|  |

**団体のこれまでの主な取り組みと成果**これまでの主な取り組みについて「どのような人たちを対象としたのか」「どのような取り組みを行ったのか」「実施地域」「期間」「事業の成果」等が分かるようにご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

**2. 応募事業の概要**

**寄付金を活用して実施する取り組みとその理由**

寄付金を活用して実施する取り組みの内容と実施理由を具体的に記載してください。特に、どのように支援対象や支援内容を広げていくか分かるように、既存の取り組みの内容や課題についての記載と、支援対象や支援内容を広げるために今回の寄付金を活用して実施する取り組みについての記載を分けて行ってください。また、より効率的・効果的に支援対象や支援内容を広げるための工夫があれば記載してください。

|  |
| --- |
| 〈既存の取り組みの内容や課題〉〈支援対象や支援内容を広げるために寄付金を活用して実施する取り組み〉 |

**上記の取り組みの社会的背景・当事者のニーズ**

上記の取り組みの社会的背景・当事者のニーズについて、調査やこれまでの活動の分析を通してわかったことを、可能な限り定量的・構造的に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**上記の取り組みによる直接的な成果の目標**

上記の取り組みによって受益者に生じる直接的な成果の目標を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**上記の取り組みによる間接的な成果や波及効果**

上記の取り組みによって生じる、目指す社会的課題の解決に中長期的につながる間接的な成果や波及効果（モデルの構築、継続的に使える資産の形成、財務基盤の強化等）があれば記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**3. 応募事業の実施計画等**

**実施スケジュール**

上記活動の実施スケジュールを記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**実施体制**

今回の取り組みを実施する内部の人材および外部の専門家を記載してください。内部の人材については担当者名や役職、簡単な経歴や、今回の取り組みにおける役割を記載してください。外部の専門家については現時点での想定で結構です。また、連携・協力する予定の団体があれば記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**予算の詳細**

寄付金の使途について、費目や使途（単価×個数等）、金額等を内訳が分かるように記載してください。人件費を計上する場合は、明細（月単価×割合×月数、時間単価×時間数等）を概算で記載してください。また、予算を最大限有効に活用するための工夫があれば別途記載してください。

※総額が寄付金の申請額と一致するようにしてください。

|  |
| --- |
|  |

**寄付金を活用して実施する取り組みについて、現在受領中・申請中・申請予定の他の助成金や補助金があれば、金額と内容を教えてください。**

|  |
| --- |
|  |

例1）受領中：〇〇円（〇〇財団〇〇助成金：〇〇年〇月〜〇〇年〇月）

例2）申請中：〇〇円（△△市△△補助金：〇〇年〇月〜〇〇年〇月）

例3）申請予定：〇〇円（××基金××助成金：〇〇年〇月〜〇〇年〇月）

※受領・申請の有無により単純に評価するものではありません。他の内容と併せて、総合的に判断する材料とさせて頂きます。

※他の自治体や財団等の補助金・助成金を活用する事業でも応募できます。但し、同一の費用を重複して計上することはできません。

**寄付期間終了後の活動計画/予算計画**

寄付期間終了後、今回の取り組みをどのように継続・展開していくか、活動と予算の計画を記載してください。

|  |
| --- |
|  |